

ナギ

●所在地／上吾川六反

●所有者／上吾川六反地区

イヌマキ科。^{かんしゅう きょうこう}幹周は胸高180cm、^{じゅこう}樹高10m。推定樹齢300年。かなり以前に主幹^{しゅかん}を切られ、その部分付近の枝の一部が枯死しているが大部分の樹勢は旺盛である。

ナギは西日本の暖地に生育する^{じょうりよくこうぼく}常緑高木で、^{しゅういしゅ}雌雄異株。この木は^{おかぶ}雄株である。

葉脈は縦に20～30本あって、葉脈の方向に引っ張ると切れにくいので、チカラシバ、ベンケイノチカラシバの別名がある。開花期は春。^{めかぶ}雌株では秋に径1cm余の球形の実をつける。



ナギは^{なぎ}風、平穏に通じるとして、社寺や住宅に植えられることがある。